

# 平成26年度介護支援専門員(2回目)更新研修(実務経験者) 【20時間】プログラム

## 【必須講義・演習・・・8時間】

(1) 必須講義・演習は、いずれかの日程を選択してください。

必須講義・演習	第1日	8/18 (月)  又は  8/19 (火)	8:15 ～ 8:45	受付		
			8:45 ～ 9:00	開会・オリエンテーション		
			9:00 ～ 11:00	①介護支援専門員特別講義	講義 2時間	(例)「ケアマネジメント実践報告会」「介護支援業務自己評価手法を学ぶ」「苦情と事業者指導の方法」「障害者ケアマネジメント」「高齢消費者被害の最近の事例」等ケアマネジメントと介護支援専門員をめぐるトピックスな課題等を学ぶ。
			11:05 ～ 14:50	③介護支援専門員の課題	演習 3時間 休憩 45分	介護保険制度や介護サービスを巡る諸課題及び介護支援専門員の基本姿勢・役割等について講義。あわせて、介護保険制度の理念に沿って、居宅サービス計画。施設サービス計画を作成し、サービスを提供するという目的に立ち返り、経験の振り返りを促進する。また、専門研修Iで学んだ利用者主体等の介護支援専門員の倫理についても再確認を行う。
			14:55 ～ 17:55	②サービス担当者会議演習	講義 3時間	複数の職種の参加を得て、模擬サービス担当者会議を行い、自己・相互評価を通して効果的な会議運営方法とチームケアの方法を学ぶ。

## 【選択講義・演習・・・12時間】

(1) 選択講義・演習は、居宅と施設を選択してください。

選択講義・演習(居宅)	第1日	8/30 (土)	8:30 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	④「居宅介護支援」事例研究	講義 6時間  休憩 45分	自立支援、利用者本位の観点から作成された居宅サービス計画の事例を取り上げ、それらがどのようなプロセスを経て作成されたのか、具体的なアセスメントの手法、サービスの活用方法、関係機関との連携手法、各個別サービス計画との関係を学ぶ。
	第2日	8/31 (日)	8:30 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	⑤「居宅介護支援」演習	演習 6時間  休憩 45分	作成した居宅サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換をしながら課題分析の方法、居宅サービス計画のポイント、モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更のポイントを学ぶ。サービス担当者会議におけるサービス事業者などとの連携方法や適切な記録の手法を学ぶ。居宅サービス計画と個別サービス計画の関連について事例を通して、相互関係のポイントについて学ぶ。
選択講義・演習(施設)	第1日	9/22 (月)	8:30 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	⑥「施設介護支援」事例研究	講義 6時間  休憩 45分	施設サービス計画のポイント、施設介護における日常的な介護と計画との関連等全体の流れを理解する。自立支援、利用者本位の観点から作成された施設サービス計画の事例を取り上げ、それらがどのようなプロセスを経て作成されたのか、具体的なアセスメントの手法、各職種間、サービス提供者との連携手法、チームアプローチによる計画の組み立てを学ぶ。
	第2日	9/23 (火)	8:30 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	⑦「施設介護支援」演習	演習 6時間  休憩 45分	作成した施設サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換をしながら施設サービス計画のポイントを学ぶ。特に施設入所直後の利用者の不安等を軽減する為のアプローチ、アドボカシー機能、切れ目ないチームアプローチによる安定したケア、身体拘束廃止、在宅復帰、地域との連携等について留意する。